

平成31年度 北海道新篠津高等養護学校「学校経営の構造」

職業学科を設置する道立知的障がい特別支援学校高等部のミッション：卒業後の職業自立（就職）に必要な専門的な知識や技能を習得すること



学校教育目標	『豊かな心と つよい体をもって たくましく自立する 生徒を育てる』	※平成5年4月制定
校訓	「すすんでやりぬく人」	

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教職員像
① 「新篠津」の学びが理解され、生徒・保護者に「選ばれる」学校 ② 生徒が安心して、安全に学習・生活できる学校 ③ 地域・保護者と連携・協働し生徒を育てる学校 ④ 教職員が働きやすく、個々の職能が発揮できる学校	① 自らを律し、感謝の心や感動する心を持ち、他を思いやり、協調できる生徒（『豊かな心』） ② 「生活し、働く」ために必要な健康な心と体をもった生徒（『つよい体』） ③ 自己の能力を発揮し、主体的に学び続ける生徒（『たくましく自立』） ④ 自ら考え決定・行動し、最後まで全うする生徒（『すすんでやりぬく人』）	① 生徒一人一人の人格と個性を尊重し、専門性、実践的指導力を生かして、適切な指導と必要な支援を行う教職員 ② 社会の変化やキャリアステージに応じ、自己の資質能力を高める教職員 ③ 同僚性・協働性を発揮し、学校課題の解決を積極的に進める教職員集団

学校経営の基本姿勢	(1) 社会に開かれた学校（教育課程） (2) 生きる力の育成 (3) 教育環境等の整備・充実
-----------	---

教育方針	経営方針	「保護者・地域」協働の方針
① 新しい学習指導要領を踏まえた、教育課程の改善の取組を推進する。 ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と評価改善に取り組む。 ③ 多様化する生徒の実態を踏まえた組織的・機能的な生徒指導を実践する。 ④ 生徒が主体的に進路選択できる進路指導・キャリア教育を推進する。 ⑤ 「平成30年北海道胆振東部地震」等の被害を教訓とした、防災・安全教育を推進する。 ⑥ 自立と社会参加に向けた基本的な生活習慣や社会性を身に付け、青年期の心理的特徴を踏まえた人格形成を図る寄宿舎生活の充実を図る。	① 教職員の情報共有と信頼・協力関係を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画し、教育活動と経営活動が一体化した組織運営を推進する。 ② 教職員の実践的指導力、専門性の向上と学校力の向上を図るため、組織的な実践研究・研修を実施する。 ③ 生徒の生命・健康・人権を守るための学校の危機管理能力の向上を図る取組を推進する。 ④ 生徒一人一人が学びやすく、生活しやすい環境・条件整備を図る。 ⑤ 教職員の働き方を見直し、協働性、同僚性を発揮することができる職場環境・条件整備を図る。 ⑥ 学校予算、団体会計等の計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。	① 特別支援教育のセンター的な役割を果たすとともに、地域、関係機関等と連携、協力して、石狩・南空知圏域の特別支援教育の充実・発展を図る。 ② 学校と地域が連携・協働し、地域社会全体の様々な機能の活用を通して教育活動の充実を図る。 ③ 生徒指導上の問題について、保護者等と連携し解決するための協力関係を強化する。 ④ P T A・地域と連携した危機管理対応の仕組みを構築する。

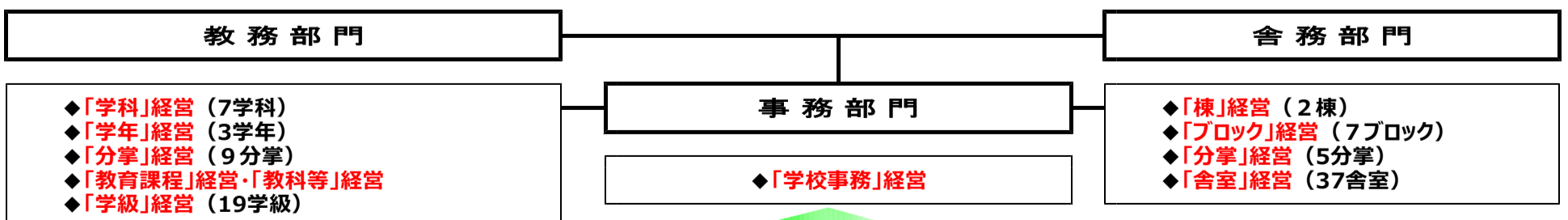
平成31年度の重点	<input type="checkbox"/> 変化の激しい時代に応じた、新しい「新篠津の学び」の創造の第一歩を <input type="checkbox"/> 多様化、複雑化する課題へ、チームでチャレンジ・解決 <input type="checkbox"/> 保護者・地域・関係機関・教職員間の協働関係の強化
-----------	--

指導の重点	経営の重点	「保護者・地域」協働の重点
① 「指導と評価の一体化」を意識した学習指導の実施 ② I C Tを効果的に活用した授業の取組 ③ 地域の資源を活用した体験的学習及び実践的、社会貢献的学習の推進 ④ S N Sに関する生徒間トラブルなど、生徒指導上の新たな問題に対する開発的・予防的アプローチの推進 ⑤ 「個別の指導計画」、「個別の生活支援シート」に基づく、学舎連携による指導・支援の推進	① 「教育課程」・「授業（評価）」の改善に向けた全教職員の研修・研究活動の実施 ② 組織業務の「意味・目的・価値」を問い直すこと等を通し、本校の実態に応じた働き方の仕組みづくりのスタート ③ 大規模改修工事（Ⅱ期）、体育館改修工事の円滑かつ安全な推進管理	① （2020年度に向けて）コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入検討の実施 ② P T A（保護者）と学校課題の共有と解決策の検討の実施 ③ 「新篠津村」をアピールできる教育活動、部活動等の推進 ④ ホームページ、学校便り、校内掲示等による情報発信・内容の充実

研究主題	「新学習指導要領にあわせた、新しいカリキュラムづくり to 2022」
------	-------------------------------------

各部門で「重点実践事項」の作成・実施・評価・改善（PDCAを意識した実践）

◇校長：校務全体に関する責任・権限 ◇副校長 ◇教頭：「職員室」経営・「舎務室」経営 ◇事務長：「学校事務経営」統括
 = 生徒が安心して、安全に学習・生活できる「環境・条件整備」/ 教職員が働きやすく、個々の職能が発揮できる「環境・条件整備」=



教職員の学校経営への積極的な参画、教職員個々のマネジメント力・専門性・実践的指導力・同僚性/協働性の発揮